

1. はじめに

本書は、「RT ミドルウェアの学習を目的とした安価で入手容易なロボット上での実行環境の構築」で使用されている RT ミドルウェア学習環境のユーザマニュアルです。

2 章は RT ミドルウェア学習環境, 使用する RTC 群, 使用するロボットの概要が述べられています。

3 章は RT ミドルウェア学習環境を使用する前の準備について述べられています。3.5 章や 3.6 章で地図画像やシミュレーション環境を作成するのがご面倒である方は, 著者の用意した環境でよろしければダウンロードできますので有効にご活用ください。また, 3.9 章のロボットの製作については, RT ミドルウェア学習環境に必須ではございません。シミュレーション環境のみでも RT ミドルウェア学習環境は動作しますので, どうしてもロボットを作ることができない場合は, 3.9 章は割愛頂いても構いません。

4 章は実際に RT ミドルウェア学習環境を使用する方法について述べられています。

5 章は本書のまとめが述べられています。

6 章は RT ミドルウェア学習環境の構築にあたって参考とした URL が述べられています。

3 章と 4 章を見れば, 他の章の説明を読まなくとも RT ミドルウェア学習環境を使用することはできます。「使えればいい」という方や, 「すべて見る時間がない」という方は, どうぞ 3 章からお読みください。

本書で指定する「ホームページ」とは,
<http://design.mech.saitama-u.ac.jp/OpenRTM/>
のことです。

また, 本 RT ミドルウェア学習環境のプロジェクトページは,
http://www.openrtm.org/openrtm/ja/project/rtm_learning
となっております。